



ふれあい 放水路

1995
(平成7年)
第19号
10月



ホタルのすむ川を 願って

九月十七日、出雲市上塩冶町菅沢地区を流れる赤川と大井谷川に、「菅沢ぼたる保存会」のみなさんと地区の子供たちによって、約一万匹の養殖したゲンジボタルの幼虫が放流されました。

ホタルが生息する大井谷川周辺では、斐伊川放水路事業や、それに伴うグリーン・ステップ事業が計画されています。

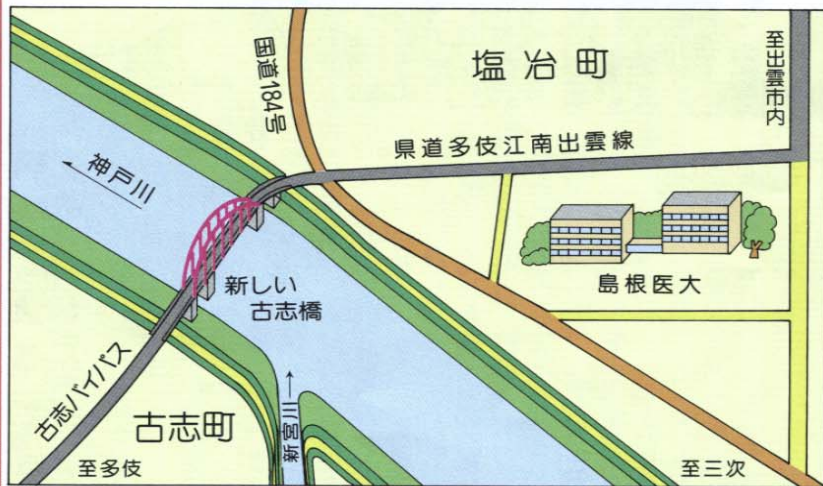
そこで、環境が変化してもホタルがすみ続けられるようにと、菅沢・下沢地区の有志の方々が、平成五年に地域のまちづくり活動の一つとして保存会を結成し、ホタルの里づくりを目指して養殖・放流に取り組んでいます。昨年はじめて放流したところ、今年の六月にはみごとな乱舞が見られました。

ホタルはきれいな水のある場所に生息します。ホタルが舞う姿が毎年見られるように、きれいな川を守っていききたいですね。

古志橋が新しく！大きく生まれ変わります！！

～古志橋改築工事の概要について～

★将来の古志橋周辺のイメージ



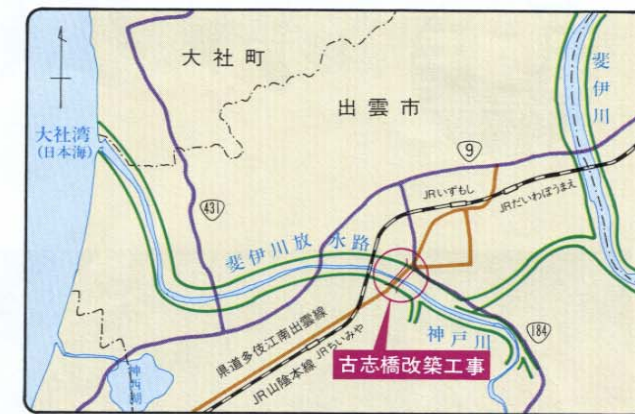
新しい古志橋は医大前の県道多伎江南出雲線・古志バイパスとつながり、将来、出雲の大動脈となるでしょう。

先月の崎屋橋に引き続き、今年度架け替え工事の始まる古志橋の工事を紹介します。

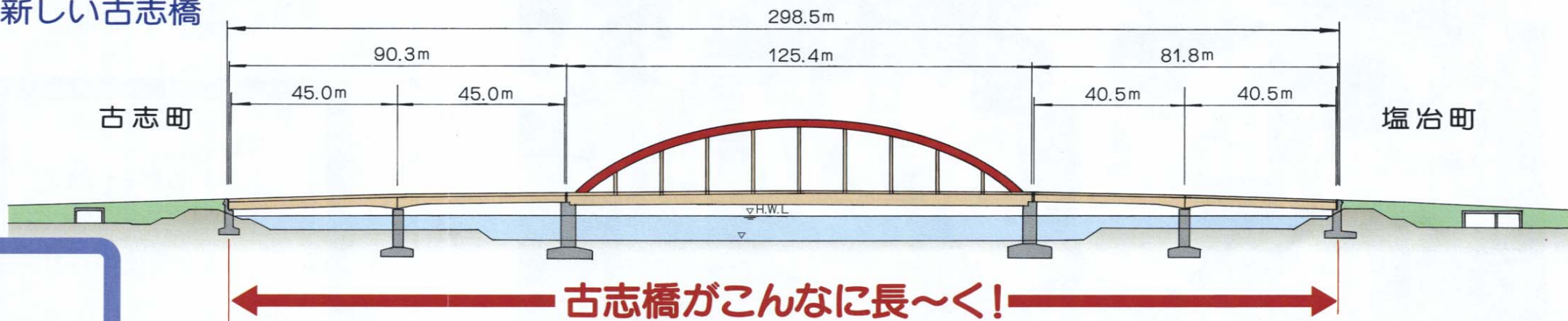
現在の古志橋は、昭和7年に出雲市塩治町と古志町の間を流れる神戸川に架けられた県道多伎江南出雲線の橋です。旧国道ということもあって神戸川をまたぐ橋の中で国道9号の神戸橋に次ぐ交通量(1日当たり約1万台の自動車が行き来)を誇っていますが、橋の幅が狭く、大型車が通行するとすれ違うのが困難になり、朝夕のラッシュ時などたびたび渋滞を引き起こしています。

今回、放水路事業で架け替えが必要となった古志橋は、渋滞を解消し、走りやすくなるように図のように大きな橋へと生まれ変わります。当面二車線だけつくりませんが、将来の交通量の増加や周辺の道路計画にあわせた県道四車線化の計画があるため、橋台、橋脚は四車線用につくりま。

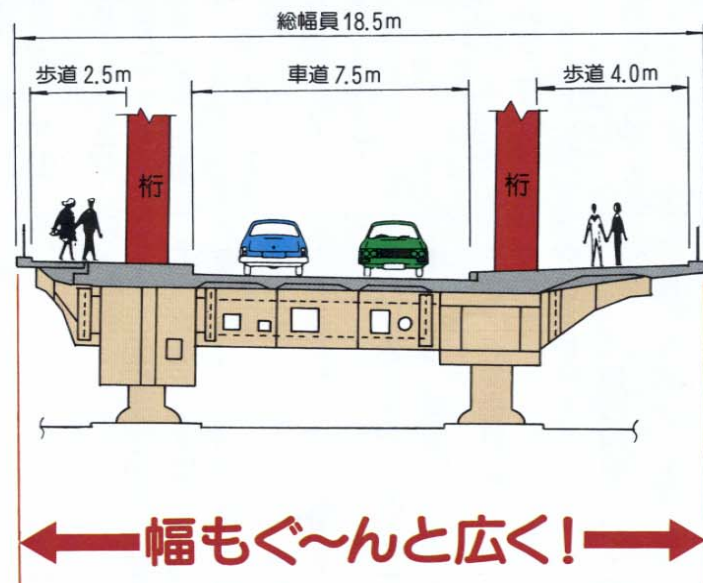
四車線のうち二車線分は平成12年頃の完成を予定しています。



新しい古志橋



新しい古志橋

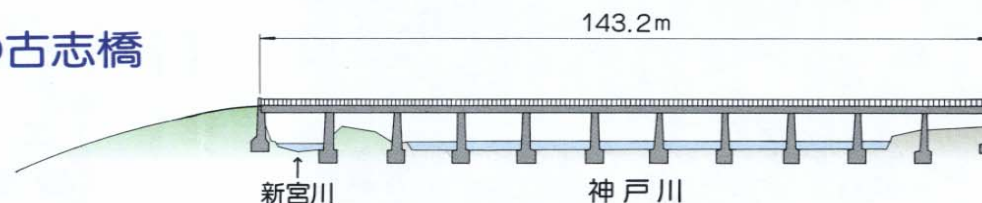


現在の古志橋

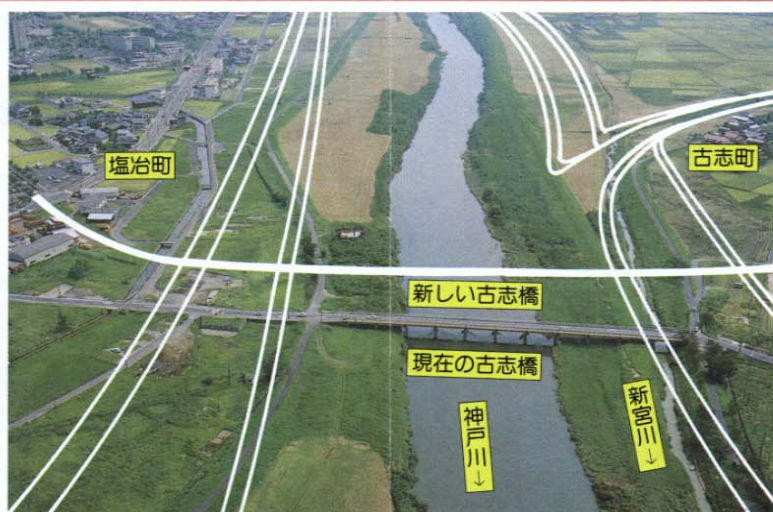


橋の幅も約2倍

現在の古志橋

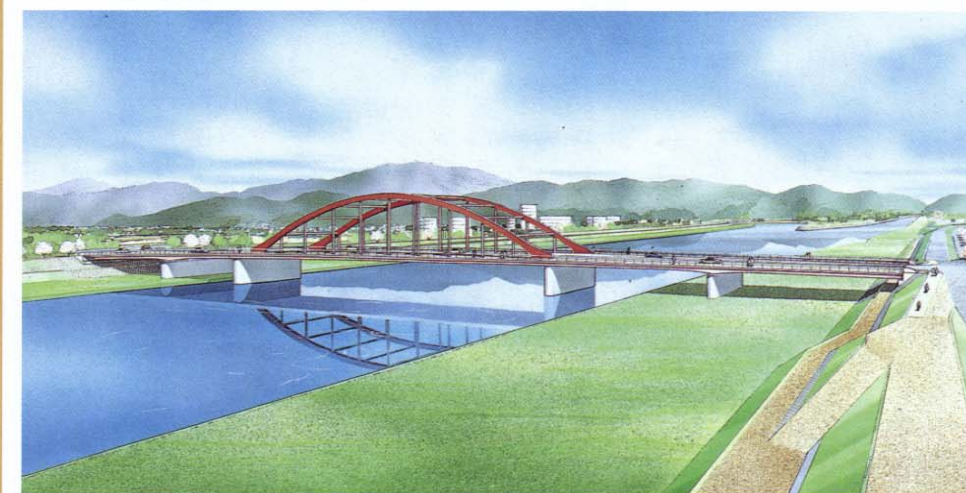


橋の長さは約2倍



新しい古志橋は、現在の古志橋の約50m上流に架け替えられます。

新しい古志橋のイメージ図



※実際の橋はイメージと異なることがあります。

ふれあい放水路 通信

ふれあいペタンク大会



八月二十九日、出雲市古志町の古志橋西にある「ふれあい広場」で、古志地区のみなさんと工事関係者の参加による「ふれあいペタンク大会」が開かれました。

ペタンクは今年開催される「ねんりんピック'95」で出雲市を会場に行われるスポーツで、鉄球を投げ、どれだけ的に近づけるかを競うものです。

会場のおちこちから「上手、上手」「ああ、惜しい！」というにぎやかな声が聞こえ、ベテランの人も初めての人も楽しいひとときを過ごしました。

第五回 東三瓶コスモス祭

ご案内

頓原町の志津見ダム建設予定地内で、恒例のコスモス祭を行います。今回は、奥出雲飯石広域観光推進協議会と合同で「花の谷への誘い」をテーマに『奥出雲ふれあいコスモス祭』を開催します。秋の谷に広がる花畑へご家族おそろいでお出かけください。

●とき 十月十四日(土)・十五日(日)

●ところ 頓原町志津見地内 イベント広場

☆コスモスの見頃 十月上旬～下旬

問い合わせ先

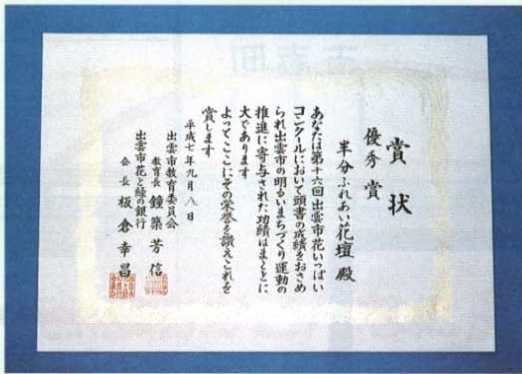
建設省斐伊川・神戸川総合開発工事事務所
調査設計第一課 ☎(0853)21-1650



花いっぱいコンクール入賞

今年度の「出雲市花いっぱいコンクール」で、第十六号で紹介しました監督官詰所横の「半分ふれあい花だん」が優秀賞に選ばれました。

この花壇は、上塩冶町の矢田恵美子さんを中心に、地元の方によって管理されています。これからもみなさんと共に花づくりを楽しんでいきたいと思えます。



■「懐しいあの頃」
昔の神戸川の写真をお送りください。なお、写真を提供していただいた方には、お返しする際に引き伸ばしパネルを差し上げます。



建設省中国地方建設局
出雲工事事務所
〒693 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。
問い合わせ先：ふれあい放水路担当